

令和6年度 第3回 国府小学校運営協議会実施報告書

日時:令和6年9月20日(金)16:00~17:00

場所:高学年図書館

1 あいさつ

(1)委員長

体調管理に気を付けて活動していただきたい。

(2)校長

5年生の農業体験「稲刈り」で地域の方にお世話になる。収穫されたもち米は、半分は販売、残り半分は、12月末の餅つき体験で頂く。

夏の学習会を1日だけ実施(台風10号の影響)した。70名の参加児童と25名のボランティアさんにお世話になった。

3年生社会見学「マックスバリュ」片道3kmあったが、バックヤードや冷凍室にも入れていただき、貴重な体験になった。

2 協議事項

(1)全国学力・学習状況調査

算数ボランティアさんの地道な支援が、学力向上に繋がった。

国語は全国平均を上回ることができたが、CD層の子達の伸びをどう支援していくかが大切になる。国語の漢字や読むことについてのワークシートの取り組みによる効果があった。

算数は、ほぼ全国平均だったが、CD層の子達の学力向上に向けて、個別最適な課題や授業を実施できるよう、改善を目指していきたい。家庭学習の影響も大きい。CD層の子は、困っている子達と理解して指導していきたい。

誤答の傾向としては、たし算とひき算を間違えたり、速さの概念を理解していなかったりするなどした。

<児童質問紙より>

朝食を食べていない子の割合が、全国平均より高い。学力にも影響があるので、保護者へ発信していきたい。また、夜寝る時刻も定まっていない子が一定数いる。

平日、1日あたりTV、ゲームをする時間の3時間以上の割合が、16.7%と全国平均より低くなっている。家庭学習チェックシート等の取り組みの成果が出ている。平日の学習時間も取り組む児童が増えている。

自己肯定感に関するポイントはやや低い。困っている人を助けていると答えている割合は高いので、意義付けをしながら指導を続けていきたい。

●家庭学習チェックシートで、子どもたちが自分で目標を立てていくとよい。

<今後、支援していただきたいところ>

CD層への声掛け、反復学習での丸付け。月1回の読み聞かせも大変有難く、継続していきたい。

●先生方の取り組みによって、子ども達の力が伸びている。教師の影響力は大変大きい。

子ども達の力を伸ばす為に、複線型の授業に取り組む教師も出てきている。

●高学年になると、どう声を掛けたらよいか悩むことがある。学年ごとにサポートを変えていかなければいけないが、今後も支援を続けていきたい。

(2)地域で育てる自己肯定感について

教員研修より…三重大学 中西教授

国府小学校のアンケートより

生活のリズムを整えていくことが大事。集団の力を生かす「達成感の共有」

基本的信頼感、自尊心、有能感、効力感、身体的要因の観点から「受容」「成長マインドステップ」「スモールステップ」等を大切にしていきたい。なお、自己肯定感には個人差があることや、教員の自己肯定感を高めていきたい。本人が「できる」「受け入れてもらっている」と感じるのが大事。結果ではなく、努力の過程を具体的に褒めていく。

●家庭では、できたことを褒めるようにしている。スポーツ少年団でも、部員の子達をみんなで褒めるようにしている。一家団欒の時間をとることを大切にしている。

●絵画について具体的に褒めると上手になった例もある。努力の過程を褒めている。

●近所の男の子達が、よく挨拶してくれる。地域としても大人が笑顔で挨拶を返していきたい。

「集団のできる」により、学力も高まっていく。「地域のできる」を増やしていきたい。

地域の挨拶が増え、犯罪にも強い街になっていくし、災害時の協力体制も強固になるだろう。

●夏の学習会の協力者がのべ62名になった。地域の協力が有難い。

●雷の対応など、教員がよく連携して動いている。校長室で面倒を見てもらう子ども達もいるので、PTAの会合でも学校の取り組みをアピールしてほしい。

●朝食を食べさせることが習慣化されるように、PTAからも広く発信してほしい。

●褒め方も工夫が必要。親が子どもに愛情を注ぐことが第一か。

●より多くの人に学習支援に入ってもらいと、褒めてもらう機会が増えるので、ワンポイントでも関わってもらえるよう、働きかけていきたい。

(3)冬の学習会 1月6～7日 9時～11時 学校運営協議会主催

(4)その他

- ・10月3日(木)授業参観&スマホ教室を実施 5年生のもち米販売
- ・算数ボランティアさんを六送会に招待したい。
- ・第5回学校運営協議会の日に、まちづくり協議会育成部と6年生とのワークショップを実施
- ・12月20日(金)餅つき体験

(5)教育支援課 加藤稔明先生より

- ・国府小の学力向上は、地域や家庭の協力が下支えになっている。
- ・スマホの使用時間が減少し、学習時間が増えている。よい循環になっている。
- ・国府の子達は、地域で褒めてもらっている機会が多いので、穏やかに育っているのではないかな。
- ・非認知能力を高めるために、子どもへの声掛けや関わりを大切にしたい。
- ・地域の人に助けられた経験が、人を助ける資質の向上に繋がっているのではないかな。

(6)次回

- ・第4回学校運営協議会(平田野中校区合同) 11月19日(木)10:00～11:30